



フレッシューズ・キャンプ

実際のモノづくりを体験し、互いの親睦を深められた二日間

知識工学部 知能情報工学科 教授 クラス担任 神野 健哉

平成の元号が最後となる平成31年4月8日（月）、9日（火）の二日間、知識工学部に本年度から新たに誕生した知能情報工学科のフレッシューズ・キャンプが行われました。知能情報工学科のフレッシューズ・キャンプは前身の経営システム工学科時代から続く、パナソニック神戸工場で自分たちが講義で使用するノートPCの組み立てが主要な行事となります。

4月8日朝8時、東京駅に知能情報工学科1期生の83名が集合し、教員およびTA（ティーチングアシスタント）の学生らと新幹線で新神戸へ向かいました。平日朝の東京駅の集合ということで、遅刻などの心配をしましたが、集合時間の10分前には全員集合しました。新幹線内で各自昼食を済ませ、新神戸駅からはバスでパナソニック神戸工場に向かいました。到着後は神戸工場製造部長の森様から会社で必要とされる人間の資質とはどのようなものであるかという話を頂きました。これは新入生には非常にインパクトのある内容の話であったように思われま

す。その後、ノートPC組立工場内の見学と実際のノートPCの組立を行いました。細かい部品が多く、手順をしっかりと守らなければならないことから、とても疲れた様子を見せる学生もいましたが、実際の製品を作る現場がどのようなもので、またモノを作るということはどういうことであるかということを実際に体験できたのは非常に有意義であったのではないかと思います。翌日9日はホテルの宴会場で科目履修の方針、注意点などを説明しました。また班に別れてのグループディスカッションも行い、お互いが認識しあえるようになりました。昼前から帰りの新幹線の出発時間までは神戸市内を自由行動ということで学生たちは思い思いに神戸の街を楽しんでいたようでした。

このフレッシューズ・キャンプを通じて単に友人づくりだけではなく、自分たちが道具として使うノートPCの中身がどのようなになっていて、またその組み立てはどのような手間がかかるのかを認識できたことは工学系の学生として非常に有意義な体験ができたのではないかと思います。

事務局だより

後援会会員の皆様には、日頃から大学行事ならびに課外活動に対して温かいご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。この1年間の活動につきまして、簡単にご報告させていただきます。

学生の課外活動支援、顕著な活躍および優れた学術活動を表彰する学生表彰、「大学と保護者との連絡会」の共催、学園祭や体育祭の大学行事への援助、新入生研修行事や就職活動援助などの事業に加え、「朝活応援企画“100円朝食”」も例年と同様に実施いたしました。

本年も大学への協行事の一つ「大学と保護者との連絡会」を全国主要都市にて開催いたします。皆様からのご意見、ご要望をもとに、創立90周年を迎える大学での学生生活を援助するとともに、大学の更なる発展のために、引き続き、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

後援会事務局長（学生部長・工学部医工学科 教授）
和多田 雅哉

